

コロナ後の郷土資料館の構想は

町長 当初の構想をもとに、計画どおり進める



録画を配信

展示計画への影響は

問 コロナの影響で、既存の博物館などではこれまでのような展示が難しくなっている。展示計画は見直すのか。

町長 構想は新型コロナウイルスが社会問題となる以前に策定されていて、社会情勢などには柔軟に対応すべきだが、ウイルスの流行の影響を直ちに受けるものではないと考えるので、計画どおり進める。

問 展示スペースがより狭くなること懸念される。お客様に満足していただける広さを確保できるのか。



横山和浩議員

町長 工夫した展示のほか、施設への貸し出しなど、さまざまな企画で一体的に展開したい。

デジタル化は

問 デジタル化やオンライン展示は、貴重な資料の基

町長 本情報をデジタルデータ化し整理することは必要と考えている。オンライン公開は郷土資料館運営検討委員会からご意見を頂戴し、総合的に検討したい。

維持費の削減は

問 経済の落ち込みが懸念される。

維持費を大きく抑えた構想、例えば常設展示をしないなどの方策は、

町長 維持管理費削減は大事な視点。効果的・効率的な運営方法を導入したい。二

ーズや運営コストなどから効率的な開館形態を設定する。また、連携施設との相乗効果から事業継続性を確保し、魅力も高めたい。常設展示は原則として行わないという点は、現段階では考えていない。

多様な意見を

問 コロナ以降の文化施設のありかたを議論したうえで、展示を検討いただきたい。検討委員会に、若い方や大学など専門知識を持つ方を入れては、

教育次長 検討委員会の構成員は町内各組織や有識者を想定している。若い学芸員や大学の先生もおられるので、ご意見をいた



予定地（旧十王コミセン）

展示解説の充実を

問 展示解説の充実が大切と思うが、準備期間が必要では、

町長 簡単な説明だけでは理解が及ばない可能性があり、その準備には相当の時間を要すると思われる。さまざまな視点での取り組みを開館までに準備するのは到底無理かと思うが、専門的なご意見を頂戴し時間をかけながら対応したい。

大きくとも可能と思う。
オンライン展示の議論を

問 現段階で、どういう展示が良いのか答えを出すのは難しいのでは。その間にオンライン展示の議論をしていただきたいが、これまでの経緯は、

教育次長 オンライン展示は施設を知っていた、大きくために有効だが、足を運んでいただくことが大事だと思ふ。検討委員会でご意見をいただき進めたい。